

大会ルール

日時・・・5月24日(日)

受付・5:00~5:30 競技・6:00~12:00

場所・・・黄金マリン(北海道伊達市南黄金町73)

対象魚・・・サクラマス・ヒラメ・ロックフィッシュ (アイナメ・ソイは同魚種とする)

釣法・・・ルアー釣りのみ (エサ・撒き餌・漁具・バケの使用禁止)


審査規定・・・3匹の合計の重量で順位を決定する。

※ サクラマス・ヒラメ・ロックフィッシュの内、3匹でリミットメイクする場合は、必ず2魚種以上を混ぜなければならない。1魚種の場合、2尾までしか検量できない。

※ 検量は10g単位 (単位未満は切り捨て)

※ 1尾から検量可能

※ 同重量の場合、「検量した魚」の
魚種の多い方 > 魚数の多い方 > 合計全長 の順で、順位を決定。

(検量例) ヒラメ2尾 + アブラコ1尾  検量可

アブラコ3尾  (2尾まで検量可)

サクラマス2尾  検量可

キーパーサイズ・・・ロックフィッシュは30cm以上、

サクラマス・ヒラメは35cm以上とする。

※キーパーサイズに満たない魚は速やかにリリースしてください

デッドフィッシュ (死魚)・・・デッドフィッシュ (死魚) の検量は可能とし、
重量ペナルティは課しません。

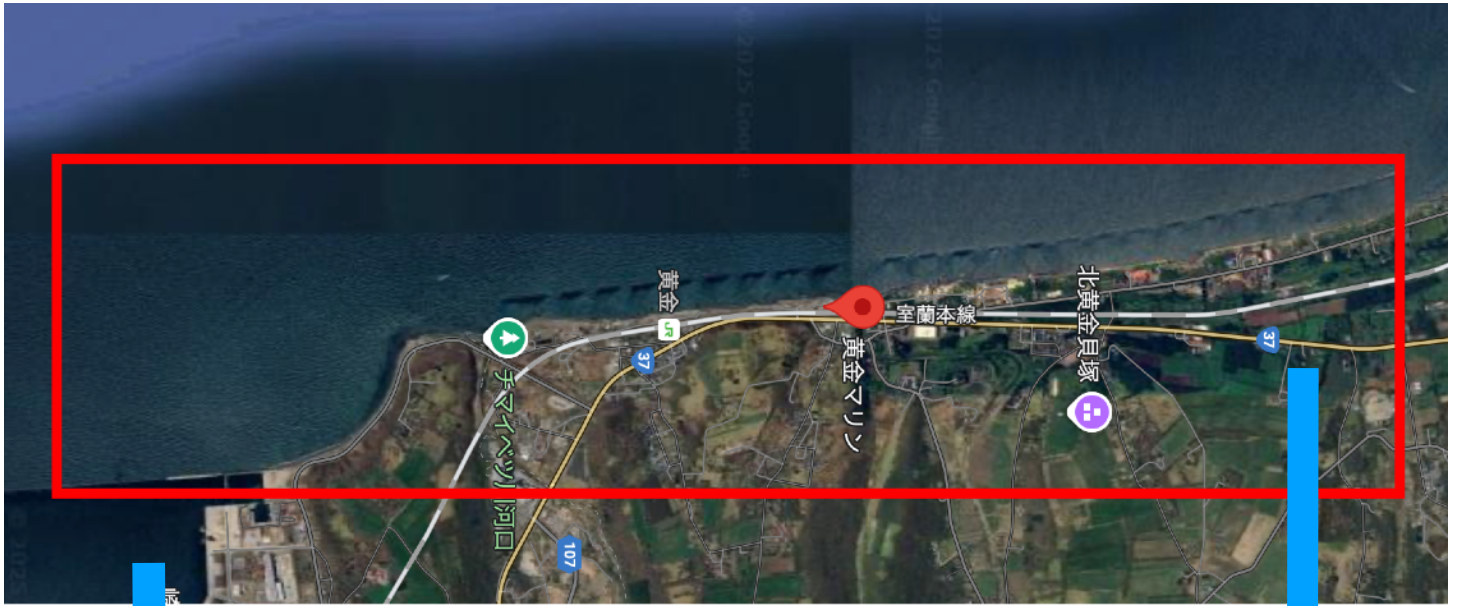
大会使用可能エリア

大会では、ポケットボート・和船・遊漁船を使用する。

- ※ ポケットボートは、1名ないし2名での乗船とし、指定エリア内を自由航行できる。
- ※ 和船・遊漁船ともに乗船は乗船定員までとし、ポケットボートと同じ指定エリア内を自由航行できる。



・・・航行可能エリア



南側（地図左側）は崎守防波堤切れ目まで
室蘭港内は侵入禁止



北側（地図右側）は黄金漁港手前、
テトラの切れ目まで



注意事項

- ※ 釣法はルアーフィッシングに限る。
- ※ エサ、撒き餌・漁具・バケの使用禁止とする。ただし、アラバマリグの使用は可。
- ※ トローリング（エンジンの推進力を利用して釣果を得る行為）は禁止とする。
- ※ 置き竿は禁止とする。同時に使用出来る竿は1人1本までとする。
- ※ 大会中の飲酒、および酒気帯び状態での参加を禁止とする。主催者が酒気帯びと判断した場合は、即時失格とし、下船・帰着を命じるものとする。
- ※ ルアー、ライン、タバコ等のゴミは海に捨ててはならない。
- ※ ターゲットを故意に引っ掛けてはならない。
- ※ ライフジャケット（桜マーク付き）を必ず着用し、大会中に外してはならない。もし、着用が認められない場合、その場で釣りを中止し、順位を取り消し、今後の大会への出場を永久に行えないものとする。（着替え等による一時的な着脱は除く）
- ※ 桜マークのないライフジャケット（ゲームベスト等）・ウェーダーの着用は禁止。
- ※ ボートをブイやロープ、網等、その他、海上物に係留してはならない。アンカーおよびパラシュートアンカーの使用は可。
- ※ 海上の網やロープ・ブイの近くを航行してはならない。
- ※ エリア外での釣りを禁止とする。
- ※ 魚探の持ち込みは可とする。
- ※ ポイントについては先行者が優先となる。先行者がいる場合、半径20m以内に近づいてはならない。（先行者とは、釣りをする為に停泊、またはキャストイングなど釣りを行っている状態を指す）
- ※ 陸上に釣り人が居た場合、そのキャストイングの範囲内に近づいてはならない。
- ※ フライト順は抽選により決定する。出港後、一旦全船が沖合で待機、集結すること。

※ スタートは大会本部の合図（ホーン）をもって開始とする。安全確保のため、遊漁船、和船、ポケットボートの順に順次スタートし、ポケットボートは、番号のプラカードを掲げ、前の船がスタートしてから10秒の間隔を空けて順次発進すること。

※ 合図前の競技開始（ポイントへの移動および仕掛けの投入）はフライングとみなし、失格の対象となる場合がある。

※ ストップフィッシングは遊漁船・和船は11時45分。
ポケットボートは12時00分ストップフィッシングとする。
ストップフィッシングは海上にておこないます。

ストップフィッシング後は速やかに納竿・片付け等の帰着準備を行い、安全に帰着すること。

なお、**安否確認の為、船の代表者が大会公式LINEにて帰着報告をすること。**

※ トラブルの際は速やかに【海上での緊急連絡先】**0142-23-1053**（黄金マリン）または、**080-3235-0728**（橋本）へ連絡し、その後、大会本部へ連絡すること。大会本部にて状況を判断し、やむを得ない場合に限り、釣行時間の延長を許可することがある。

※ ライブウェルへのキープ数は規制しないが、検量持ち込みは1人3匹までとする。

※ 同船者とライブウェルを共有する場合、必ずマーキングをし、常に個人の魚を識別可能にすること。（抜き打ち検査を実施する）

※ マーキングの無い魚については没収・検量不可とする。

※ マーキングは大会受付時に配布する。

※ 大会中、釣った魚を他人に譲渡してはならない。

※ 大会時間外に釣った魚を検量に持ち込んではいない。

※ 不正行為が発覚した場合、順位を取り消し、今後の大会への出場を永久に行えないものとする。

※ 不正行為が発覚し失格となった場合、参加費および乗船費の返金には一切応じかねます。

- ※ 検量ウエイトに対して不服がある場合は1度のみ申立てにより再検量が認められる。ただし、2度目の検量ウエイトが記録となる。
- ※ 検量した魚は選手個人の責任において処理するが、リリースを推奨する。ただし、デッドフィッシュのリリース（海へ捨てる行為）は禁止。各自で持ち帰り、適切に処理すること。
- ※ 大会中、荒天等で競技中止の場合は携帯電話および出場者相互連絡とする。
- ※ 中止指令が出た時、またはご自身で荒天により危険を感じた時は、すみやかに大会本部に帰着するか、安全な場所に避難すること。避難した場合は大会本部に安否を連絡する。
- ※ 中止指令発令後の釣りは一切禁止とする。順位については、発令時点で保持している釣果のみを検量対象とし、順位を決定する。
- ※ 大会は開始2時間を経過した時点で、成立したものとする。
- ※ 中止に起因する不服申し立てがあっても、それは受け付けない。
- ※ 大会中は緊急事態を除き、大会本部以外に上陸してはならない。
- ※ 大会中に事故が起こった場合は人命救助を最優先とする。
- ※ 海上・陸上を含め、事故については自己責任とし、大会実行者・大会協賛スポンサー等は一切責任を追わないものとする。
- ※ 大会中の事故の補償については、保険の範囲内とする。
- ※ 大会中に主催者および大会関係者が撮影した写真・動画・音声等に関する一切の権利は、主催者に帰属するものとする。
- ※ 大会の様子（氏名、肖像、競技風景等）は、主催者が運営するWebマガジン「fanoram」（ファンoram）、YouTube、SNS、および今後の大会告知やプロモーション活動において、無償かつ無期限に利用・掲載されることがある。

- ※ 大会へのエントリーをもって、メディア等への露出および多目的利用に同意したものとみなす。ただし、特別な事情によりメディア露出が不可能な場合は、必ずエントリー時に事務局へ申告すること。事前の申告がない場合、事後の削除要請には応じかねるものとする。
- ※ 大会中の写真・動画の撮影およびSNSへの投稿を推奨する。
- ※ 本大会はメディア露出を前提としたイベントであり、競技エリア（海上）および大会会場、各艇内等における撮影、およびSNS等への投稿において、参加者同士は互いに写り込みを許諾し合うものとする。ただし、他者を誹謗中傷する目的や、明らかに不利益を被る形での投稿は禁止とし、これに違反した場合は不正行為と同様の処置をとる。
- ※ 会場および施設内（駐車場・スロープ・売店等）には、大会参加者以外の一般利用者も多数いらっしゃいます。一般のお客様に対する無断撮影やSNS等への映り込みは厳禁とし、プライバシーを侵害しないよう細心の注意を払うこと。
- ※ 通路の占拠、荷物の放置、騒音等、他のお客様の迷惑となる行為を禁じ、公共のマナーを守って施設を利用すること。これらに関する苦情や指摘があった場合、不正行為と同様の処置をとる場合がある。
- ※ 参加者同士、または一般の利用者とのSNS投稿等に起因する紛争やトラブルについて、主催者は一切の責任を負わない。
- ※ 本ルールに定めのない事項、および天候・事故等を含むあらゆる疑義が生じた場合は、大会実行委員会の裁定に従うものとします。

以上